

(1) 金剛地区再生指針に基づく取組について (令和3年度)

① 金剛地区まちづくり会議(各部会・プロジェクト)の取組について

1. 金剛マルシェプロジェクト
2. 拠点づくりプロジェクト(わっくcafé)
3. 総合まちづくり部会
4. 寺池台小学校防災訓練

② 金剛地区まちづくり会議の運営について

③ 市が進める取組について

1. Re:KONGO～まちをデザインするプロジェクト～
2. ∞KON ROOMの運営
3. スマートシティ実現に向けた実証の実施について

①金剛地区まちづくり会議(各部会・プロジェクト)
の取組について

1. 金剛マルシェプロジェクト

■金剛マルシェ～地場産やさい市～の開催

「地域交流」、「居場所・賑わいづくり」、「商店街の活性化」、「買い物支援」、「地元産野菜のPR」などを目的として開催。

【開催日】 平成30年4月～、毎月第4土曜日

【場 所】 金剛銀座街商店街 ※UR都市機構から同商店街の広場スペースを借り受け。

【主 催】 「金剛地区まちづくり会議」マルシェプロジェクト

- 毎回50～100人程度の来場者がある。
⇒ 一定数のファンが定着。新規就農者の野菜販売の場にもなっている。
- SNS、チラシ（年2回程度発行）、市広報誌による広報・PRを行う。
⇒ チラシは、各回6000枚程度を発行。回覧・ポスティングを実施。
- 現在、出店料は無料。 ※出店者は随時募集中！
⇒ 「まちづくり会議」有志でも出店し、イベント経費に充当。
- 必要備品（テーブル・椅子など）は、銀座街商店会や地区福祉委員会から借用。

毎月第4土曜日は、「わっくcafé」でカレー食堂（子ども食堂）も開催され、賑わいづくりの日として定着。



■課題等

- ▲マルシェの**実施主体が明確でない**。
→主催者(マルシェプロジェクト)による、**主体的な運営ができていない**。
- ▲会場準備・片付け、ごみの処理等、運営の**役割分担等ができていない**。
- ▲マンネリ化、魅力的なPR・宣伝の不足、マルシェ自体の**魅力が乏しい**。
→**集客の伸び悩みや出店者離れが進む**。
- ▲子ども食堂終了後(13時)~野菜販売(15時)までの**時間を持て余す**。
→**時間をつなぐ取組検討が必要**。

※ただし、毎月の実施が、出店者・来場者に定着しており、何となく開催できている。

■課題解決に向けて(前回会議での報告)

課題
解決に
向けて

- ①新たな出店者の募集(担い手となる方)
- ②魅力的な企画の検討(季節にあわせたイベント等)
- ③看板設置や、会場内の飾りつけ…etc

わっくcaféオーナー
や、他団体等とも
連携強化を図る

■課題解決に向けて取り組んできたこと

①わっくCaféオーナー等への声掛け、口コミ、SNS等での出店者募集

・新たなつながりが生まれ、出店者も増加。

◎これまで=各回5店程度 → 10月以降=常時10店以上が出店

②季節にあわせたイベント【ハロウィン(10/23)・クリスマス(12/25)】を開催

・わっく金剛、地区福祉委員会、Re:KONGOプロジェクト有志、他団体・出店者等が連携して企画運営。

・主に、子どもをターゲットとした催しや出店等を実施。

◎たくさんのお子どもたちが来場し、盛り上がりを見せた!

・スタンプラリー
・お菓子等のプレゼント
・輪投げ、くじ引き、ゴムてっぽう、ミニ芋ほり、ネイル、顕微鏡等
・写真撮影スポットの設置 etc

②「金剛バル☆WinterLand」にあわせて、時間を拡大してマルシェを開催(11月)

・金剛バル=中央公園、マルシェ=金剛銀座街。

◎2つの会場の回遊性により、にぎわいを創出

③イベント等にあわせて、マルシェ会場を飾りつけ

・ガーランドやハロウィン・クリスマスにあわせた飾りを設置。

◎若者等のアイデアで会場がにぎやかに!

・「金剛バル」にあわせて、地域の幼・保育園の園児が作成したペットボトルツリーを設置(~1/23まで点灯)。

◎保護者等が銀座街商店街に訪れるきっかけに!





たくさんの子どもたちや買い物客が来場し、にぎわいが創出されました。

■引き続き検討が必要な課題等

▲あいかわらず、実施主体が明確でない。

・新たなプレイヤーとして、積極的な参加や、企画・運営にかかわっていただける方も多くおられるが、主となって運営を担う「ホスト」としての役割には、至っていない。

一方、マルシェ・イベントがにぎわう中で

取組全体を統括する担い手が必要

- ▲事故、苦情、その他問い合わせ等への対応。
- ▲対外的な調整窓口。
- ▲会計管理等を行う事務局機能。

ホストの不在により、取組自体が消滅してしまう恐れがある。

コロナ感染拡大等、不測の事態時における実施の判断等。

「何となく開催できている」では済まされない状況が生じている。

・どのように声掛け(誘導)し、「ホスト」として役割を担っていただくか？
・負担を押し付けることで、活動から離れてしまうことへの不安もあり、お願いしにくい。 etc

■継続的な開催に向けて

- ・運営の主体となる、担い手の発掘・育成。
→かかわりのあるプレイヤーや銀座街商店会に声掛けし、運営を担う体制づくりを進める。
- ・引き続き、魅力的な企画(季節に応じたイベント等)を検討。
→次回は、春ごろに何かを!!

関係者等との連携により、更なる継続発展をめざす。